

長島文芸

ながしまぶんげい

長島短歌会

雨露を吸ひて日毎に膨らめるピンクの海棠狭庭に蓄む
 わが受くる点滴を見ついつしかにまどろみてみる午前二時すぎ
 赤藤は池を巡りて咲き初めぬ夫逝くまで咲かざりし花
 静かなる島の夕暮れ干潮の海面に淡き半月揺るる
 山茶花に群るる目白を追ひ払ひ鴨いち羽占めて蜜吸ふ
 海風に桜の花弁飛ぶ病舎根かぎり生き夫は逝きたり
 裏庭に今が盛りと咲き揃ふピンクのつつじ日々華やぐ

中山タマエ
 浜田美代子
 濱畑 松枝
 岩下 ち江
 樫平 頼子
 米尾 和子
 坂之下典子

一般作品

みな我が師英語現地語日々話す混ぜ込ませ使い何とか通ず
 マスク付け帽子目深の重装備目だけ見開きせわしく動く
 山鳩の鳴く声聞こゆこの家でふるさと思ふ楽しき日々
 わが生命桜の季節になぞらえるあ今年もあなたに会えました
 温泉で友と会うのが楽しみの健在認め満悦の顔
 振り返り思事だよ我事は二度と帰ぬ仕方ないのよ
 駆け引きに埋蔵資源つかわれて上は焦土とされるこの星よ

小林 貢
 小林 如月
 中仮屋辰子
 後藤ヨシエ
 松元 睦子
 町田 末則
 母木 良平

長島の

歌人集まる

広場あり

明神俳句会

廃校に残る小池や蝌蚪かた生る 淵脇 護 三月や転舵てんだの水脈みゐの発光す 迫口 君代
 抑留の凍土に春や鶴引ける 白男川孝仁 父の影見え隠れして春の山 大堂 早苗
 役終へし碇の錆や風光る 関 佳代美 懸命に球追う子等や風光る 関 喜久雄
 春山を背に川筋の五・六軒 二階堂妙子 春の夢静かな余生あればいい 二階堂恵子
 スキップで下校の子来る春の山 山崎加代子 姦かしましき山菜取りの春の山 大堂 正弘
 民話聞く児らの窓辺に桃の花 坂口 静子

町立図書館のおすすめ

図書館に置いてある本の中から、おすすめを選びました。バラエティに富んだ本を紹介します。



ねこと
じいちゃん 8

著：ねこまき

じいちゃんとはあちゃんとネコばかりが暮らす島のエピソードを、四季折々の彩りにのせてお届けします。



稲盛和夫
一日一言

著：稲盛和夫

1日1話ずつ読んで、その日の活力とするのも良いのでは。

町立 指江図書館 ☎ 0996-88-5651

町立 鷹巣図書館 ☎ 0996-86-1121